

きゅうしょくだより 2月



1月24日から31日は全国学校給食週間でした

2月の節分は、春の始まり（立春）の前日となりますが、寒さはまだまだ厳しいです。外から帰ってきた後や食事の前の手洗い、栄養バランスのとれた食事、そして十分なすいみんをとって、元気に春を迎えましょう。

季節の行事「節分」

「立春」の前日を「節分」といい、「節分」の日には、「豆まき」をする風習があります。

「豆まき」には、「大豆」を使うことが多く、いったものを使います。「おには外、福は内」といながら、大豆をまきます。これは、悪いことをもたらすとされる「おに」を追い払い、幸せの「福」をよびこむためです。家族の健康や幸せへの願いが、こめられています。



「節分」の日には、「豆まき」をして、災いをもたらすとされる「おに」を追い払い、「福」を呼びこむ行事が行われるほかに、「いわし」の頭を「ひいらぎ」の枝にさして、げんかんにかざる風習もあります。

これは、「おに」を家に入れないようにするための風習です。「いわし」は、焼くとおいが強くなるので、焼きたいわしの頭の上において、「おに」を近づけないようにしたそうです。そして、「ひいらぎ」の枝にさすのは、ひいらぎの葉のするどいトゲで、「おに」の目をさし、追いはらうのだそうです。



いった「大豆」を、自分の年れいの数だけ食べると、1年間を健康にすごせるとも、いわれています。



1月18日、花園幼稚園の皆さんが給食センター見学に来た時にいただきました。一生懸命作ってくれた様子がわかります。

花園小学校の皆さんが製作した絵、作文、標語です。どの作品もすばらしいです。

献立紹介

2日（水）かてめしで恵方巻…恵方巻は、節分の日食べる巻きずしのことです。恵方とは、その年の年神様のいる、えんぎの良い方角のこと。恵方巻を、その年の恵方に向けて願い事を心の中で唱えながら無言で一本丸かじりすると願いが叶うというものです。元々は関西を中心とした地域の風習でした。巻きずしには「福を巻き込む」、切らずに丸かじりするには「縁を切らない」無言で食べるのは「途中で声がもれると福がもれる（逃げる）」など、それぞれ意味があるといわれています。



今年の恵方は北北西です。

8日（火）にぼうとう…渋沢栄一翁の誕生日が2月13日です。それにちなみ、栄一翁が好んで食べたというにぼうとうを作ります。

14日（月）白花豆のコロッケ…豆の形をしていますが、ハートの形にも見えるのでバレンタインデーの日に入れました。